

東京都新宿区北新宿1-8-16
 東京土建一般労働組合
 電話03 (5332) 3971 (代表)
 FAX03 (5332) 3972
 発行人・編集人
 三木 勉

印刷部数11万1300部
 (購読料は組合費のなかに含まれています)

(年間購読料 千八百円) 定価 五十円



東京土建のホームページ <http://www.tokyo-doken.or.jp/>

憲法改悪阻止 フアックス要請

10月から11月末まで、憲法改悪阻止を目的に国会議員へフアックス要請行動を取り組みます。支部、分会など以外に組合員・家族も参加できます。フアックス送信ができる方は支部へご連絡ください。

組織の総力をあげて目標達成へ

秋の拡大月間の訴え 組織部長 檜山 剛志

現勢回復し1%実増を

仲間とつながり語りつくそう

秋の拡大月間も中盤に差しかかり、各支部で具体的な行動が実践されています。また、仲間のつながり夏の大運動が

この月間の土台を築いていきます。3つの組織活動の発展から、この秋でも、①基礎組織の機能強化で拡大運動をす

め、②現場従事者の組織化から多数派形成、そのための現場内外のたがいを展開し、③事業所の仲間の相談に寄り添い、建設

力を持って産業要求課題も前進させます。秋の月間は1年間取り組んできた活動到達を活かすときであり、明らかとなっている課題を克服する時です。全世代の多くの仲間をどれだけ集め、これだけつながれるか、組織内外に組合を語りつくし運動の当事者・協力者を増やし組織総力戦で展開していき

ましよう。全都の拡大数は9月12日時点で832人(拡大率0.72%)となっています。また社保未加入対策が完全に終わっていないとの報告も出ています。「CCUSによる労使間の透明化から対象者が浮かび上がった」「CCUS登録でグループ請から3保険強制適用にも関わらず未適

あった」と情報も寄せられています。聞き取りアンケートを活用して実態の把握を行なうと共に、CCUSと働き方改革を知らせ相談に寄り添い、対象者をつかみ9月節目50%を確実に、すべての仲間の力で組織増勢を果たし秋の月間を成功させましよう。



檜山組織部長

キャリアアップシステムや働き方改革等知らせ、相談は組合へと地域で大きく打って出る方針を掲げました。到達により支部の課題も異なりま

すが、新・3つの組織活動(群・分会活性化と後継者育成、現場組織化・資本現場労働者対策、職域活性と地域事業所組織化)は基礎組織を鍛え発

展させて、現場と地域に影響

力を持つて産業要求課題も前進させます。

秋の月間は1年間取り組んできた活動到達を活かすときであり、明らかとなっている課題を克服する時です。全世代の多くの仲間をどれだけ集め、これだけつながれるか、組織内外に組合を語りつくし運動の当事者・協力者を増やし組織総力戦で展開していき

ましよう。全都の拡大数は9月12日時点で832人(拡大率0.72%)となっています。また社保未加入対策が完全に終わっていないとの報告も出ています。「CCUSによる労使間の透明化から対象者が浮かび上がった」「CCUS登録でグループ請から3保険強制適用にも関わらず未適

あった」と情報も寄せられています。聞き取りアンケートを活用して実態の把握を行なうと共に、CCUSと働き方改革を知らせ相談に寄り添い、対象者をつかみ9月節目50%を確実に、すべての仲間の力で組織増勢を果たし秋の月間を成功させましよう。



事業所南分会の関口分会長(中央)にバースデーケーキをプレゼントし第6ブロックの仲間が祝いました

江戸川

「楽しくやってのける」

78人の加入書持ち寄る

江戸川支部の秋の拡大出陣式は9月10日、支部会館で開催され、231人の仲間が参加しました。

冒頭、堀川委員長はあいさつの中で、「14日間の行動を中心にして2カ月間がんばりました」と訴え、本部来賓を代表して松丸委員長は「東京土建の最大支部である江戸川支部が全都の拡大を牽引してもらいたい」と激励しました。

第2部の目玉は各分会からの決意表明と成果の持ち寄り発表。今回は25ある分会が6

つブロックに分かれて登壇達成への強い思いを語り、加入書の入った封筒を次々と川島組織部長に手渡します。

この日の持ち寄り成果は78人となり、江戸川支部は見事にスタートダッシュを決めました。

この日の持ち寄り成果は78人となり、江戸川支部は見事にスタートダッシュを決めました。

出陣式開きスタートダッシュかける

この日の持ち寄り成果は78人となり、江戸川支部は見事にスタートダッシュを決めました。

この日の持ち寄り成果は78人となり、江戸川支部は見事にスタートダッシュを決めました。

この日の持ち寄り成果は78人となり、江戸川支部は見事にスタートダッシュを決めました。

この日の持ち寄り成果は78人となり、江戸川支部は見事にスタートダッシュを決めました。

この日の持ち寄り成果は78人となり、江戸川支部は見事にスタートダッシュを決めました。

8年連続達成へ 機関紙で対話活動進める

多摩西部



ガンパローで決意固める多摩西部支部の仲間

多摩西部支部は9月7日、支部事務所での秋の拡大決起集会を開催し、68人が参加。冒頭、清水委員長のあいさつに続き、渡辺本部副委員長が激励のあいさつをしました。

支部はこの月間で、支部機関紙を全組合員に郵送し、機関紙を読みましたかと、アンケート・対話をしていきます。

小笠原組織担当書記が、この取り組みには、拡大対象者が見つかる、組合のイベントに参加する人が見つかる、組合

この取り組みには、拡大対象者が見つかる、組合のイベントに参加する人が見つかる、組合

この取り組みには、拡大対象者が見つかる、組合のイベントに参加する人が見つかる、組合

この取り組みには、拡大対象者が見つかる、組合のイベントに参加する人が見つかる、組合

「名も知らぬ遠き島よ、流れ寄る椰子の実一つ」。東日本大震災で津波にさらわれた岩手県の漁船が沖繩で発見されたという、唱歌「椰子の実」を思い出した。この歌は柳田國男が愛知県伊良湖岬に漂着した椰子の実を見つけ、黒潮に乗って日本人も日本列島に来たのではないかと島崎藤村に語ったことがきっかけでできたという。

「イギリスの海洋学者は、太平洋を西から東、さらに南下して東から西へと流れる黒潮により、約6年で漂流物が日本に戻ってくる場合もあるが、その多くは、ハワイとカリフォルニアの間で、日本の国土の4倍以上の広さがあるといわれている太平洋ゴミベルトに集まると指摘している。

内閣府の発表では、東日本大震災における外洋への漂流物の総量を約150万トンと推定している。途中で沈むものがあるとしても、大震災での漂流物のかなりの量が太平洋「ゴミベルト」に集まっていると推定され、集まっているごみのうち最大で20%が東日本大震災での漂流物によるという報告もある。中にはプラスチックごみもあるだろう。プラスチックごみも腐敗して分解することなく、マイクロプラスチックとなって生態系への影響が懸念されている。日本政府もプラスチックごみ対策に本腰を入れる必要があるだろう。